The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	はじめに　大阪大学大型計算機センターニュース No.1
Author(s)	高木, 修二
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1968, 1, p. 1-2
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65103
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

◎ はじめに

大阪大学計算センター共同利用開始に当って

大阪大学計算センター主任　高　木　　修　二

東京大学の大型計算機センターが全国の共同利用に供せられ，わが国の学術研究に大いに貢献していることはご承知の通りであります。しかし，計算機利用の要求に対して，大型計算機が東京大学のだけではまかないきれず，大型計算機がもっと自由に使えるようになりたい，というのが全国の研究者の願いでありました。日本学術会議の勧告を受けて文部省がいくつかの国立大学に大型計算機を共同利用として設置して行く方針を立て，その一環として，東北大学，京都大学，九州大学に大型計算機が設置され，昭和44年1月頃から稼動する予定になっていることはご承知の通りであります。

大阪大学は昭和37年に学内総合組織として計算センターを設け，学内の共同利用に資してきました。この計算センターはNEAC 2203，NEAC 2206を主機として運営されてきましたが計算機使用に対する要求が年々高まり，この2機では到底要求を満たすことができず，計算センターを拡充し高性能の機器を備えることが強く要望されていました。たまたま昭和40年10月，日本電気株式会社からNEAC2200/500電子計算機システムを無償貸与したい旨の申し出があり，大阪大学では種々検討の結果，これを受け入れ，将来はこれを有償貸与に切りかえ更に計算センターを拡充する方針を立てました。このNEAC2200/500は昭41年11月末に納入され，昭和42年1月から稼動を始め，学内共同利用として大いに利用され今日に到っております。

この間，昭和41年末から42年春にかけて，文部省及び日本学術会議は前記の日本学術会議及び文部省の計画と関連して，大阪大学がNEAC2200/500システムを全国共同利用として解放することを希望して大阪大学の意向を聞いてきました。大阪大学では昭和42年4月の評議会に諮った結果，当時，共同利用センターの設置が予定されていた東北，京都，九州の三大学と共同歩調をとり，ゆくゆくは大阪大学の計算機も全国共同利用とする旨の方針を決定いたしました。

昭和42年度は大阪大学計算センターはまだ建設途上であり，人員の面からも予算の面からも，共同利用が行える状態ではありませんので，計算センターではシステムの整備に努め，特にわが国で初めてのタイムシェアリング・システムが行なえるよう努力し，昭和43年1月に一応の目途がつけられるようになりました。昭和43年度には全国共同利用を前提として予算，人員が計上されましたので，大阪大学では大型計算機センター共同利用準備委員会を組織し，学外の学識経験者を交えて，昭和43年度内に共同利用を行なうべく準備を始めました。準備委員会では，利用の原則，利用方式，センターの組織等について検討を行なっております。

ところで，大阪大学の計算センターを全国共同利用とすることは昭和43年度から法制的に形が整う予定になっていましたが，その根拠となる法律（いわゆる総定員法及びこれに伴う国立学校設置法施行規則の改正）が国会を通過しなかったため，予算だけがついて定員及び制度が伴わない，という変

則的な状態になってしまいました。（この事情は東北，京都，九州の三大学でも同様で，関係者はたいへん苦労をしています。）しかし，大阪大学では，計算機は既に学内用として稼動をしておりますし，法制的な形は整わなくても，暫定的な措置によって，できるだけ早い時期に大阪大学以外の方々にも使っていただけるようにするつもりであります。

大阪大学の計算センターの能力は学内の共同利用としても既に利用の要求に応えられなくなっています。センターは拡充の計画を持ってはいますが，ともかくも現状のままではどれだけ学外の方々の期待に応えることができるか，私達も不安であります。それに加えて上記のような変則状態のため，運営にも思ったように行かない点が多いと思います。それでも，手許に計算機がないために苦労しておられる方々にとって少しでも助けになることを願って全国共同利用を行なうこととといたしました。大阪大学の方々も今までよりも利用が窮屈になるかも知れませんが，大乗的見地に立って協力をお願いしたいと思います。